



あったかいだコンサート！吹奏楽部！



8月28日（日）本校体育館で吹奏楽部3年引退演奏会である「あったかいだコンサート」が行われました。プログラムはいろんな所でたくさん演奏した「パイレーツオブカリビアン」をはじめ、1、2年生だけや3年生だけの演奏、またコンクールで銀賞を頂いた曲も演奏しました。そして最後は「学園天国」を楽しく演奏・ダンスも披露し幕を下ろしました。

吹奏楽部は、本年度コロナ禍の影響を受けながらも、市役所や商店街など、地域で演奏できる機会も増えてきました。しかし、今年引退した3年生は中学入学後、何か月も後からスタートしたクラブ活動でした。ここまでいろんな制限を受けて、合奏も思うように出来ず、いつも少人数での練習ばかりでした。

それでも最高学年になり、吹奏楽部が彼らのカラーに染まりました。それは「努力と思いやり」です。以下は顧問の先生が3年生保護者の皆さん宛に綴ったメッセージです。

私は、どうしても吹奏楽部以外の皆さんにも紹介したくて顧問の先生に特別に許可を頂きましたので掲載します。長文ですが、ゆっくり読んで感じてください。（原文のまま）

まずは「努力」。パートやセクションでの練習では、自分たちで「どのように演奏したいか」「どういふところが足りていないか」考え、練習を進めていました。いつだって彼らの練習部屋からは絶えず演奏が聞こえていました。私が懇談期間中でも、終始練習の音が聴こえてきます。顧問がいなくてもしっかりと自分たちの力で音楽を創っていかうとする姿勢に私は何度も助けられました。そして、合奏の時には、「先生、ここをもう一回演奏したいです。」「先生、この部分の吹き方ってこうしてみてもいいですか？」と沢山提案してくれます。とても楽しいひと時でした。今までの演奏はすべて彼らと一緒に創り上げてきたといっても過言ではありません。そんな“努力家で主体的”な彼らだからこそ、色んな事に挑戦して欲しいと思い、今年度は、コンサートの運営を初めて生徒に任せてみました。それだけ彼らのことを信用していたからです。今では当たり前のように生徒が運営していますが、これは本当に凄いことです。普通の中学生在ができることではありません。私はこのような日々を彼らと共に過ごすことができ、本当に幸せでした。

そして何より彼らがすごいものは『思いやり』です。仲間を大事に。後輩を大事に。先輩後輩関係なく、どんな人に対しても誠実でした。「後輩は本当しっかりしているから助かってます。」「あの子、うまくなりましたよね。」など、後輩の成長にいち早く気づき、声をかけてあげられる素晴らしい先輩でした。そして後輩や同級生の失敗をけして責めず、一緒に寄り添い向き合ってあげられる本当に思いやりに溢れるメンバーでした。だからこそ、1、2年生の後輩は69期生のことが大好きです。おそらく全員が「大好き。」と答えるでしょう。そう自信をもって言えるくらい、彼らは本当に仲間を大切にしていました。

しかし、彼らは周りを思いやるあまりに、自分の本音を隠しがちです。2年半、彼らがなかなか腹を割って話すことはありませんでした。私の勝手な分析ですが、69期生は入学した時から2つの大きなグループに分かれており、どこか互いに遠慮しあう部分があったように思います。夏休みに入ってから、なかなか3年生の予定が揃わず、彼らの思いや予定がずれていきます。（こんな状況で引退コンサートは成功できるのか）とそれぞれがモヤモヤします。「中途半端になるくらいなら辞めたほうがいいのでは。」という気持ちをぶつけてきた子もいました。そこからどうすれば納得のいく引退になるのか、3年生で話し合いました。始めは「中途半端ならやめよう。」という方向に進んでいました。しかし、そこで、ある子が呟きます。「今のままが一番中途半端な気がする。うちらコロナでまともに演奏できたことが少なかったか

ら、最後くらいは自分たちが主役になってみんなで演奏したい。」と涙ながらに自分の思いをぶつけていました。それをきっかけに「自分だって本当はこのままで終わりなんて寂しい。」「どうにかしてできる方法はないのか」と号泣しながら本音をぶつけ合っていました。

それをきっかけに面と向かって感情や想いをぶつけえる関係性になってきたように思います。とある友だちが悩みを抱え、なかなか登校できなかった時も、家まで迎えにいき、「この前、私たち本音をぶつけ合ってとてもスッキリしてん。そこから悩みがスッと楽になって楽しくってん。」「だからうちに本音ぶつけてよ。」「言うてくれな手助けできへん。言うてくれたら全力でサポートするやん。」と、登校していなかったことを決して責めず、ただひたすら諦めずに向き合い、支え続けたこの69期生のあたたかさを目の当たりにして、彼らの人間性や関係性に涙が出そうになりました。私は自分が生きてきた中でここまであたたかくて居心地の良いチームは見たことがありません。彼らだからこそ作れた最高のチームだったと思います。本当に思いやり溢れる素晴らしい集団でした。

そうしてようやく69期生が本当の仲間となり、今日の日を迎えられたこと、そんな彼らの成長を一番近くで見守ることができたことが何より幸せでした。

最後に…

このコンサート、彼らは、辞めようとしていました。「失敗するくらいなら」「中途半端になるのなら」。彼らは失敗することをとても嫌います。失敗するくらいなら挑戦しないでおう。という子が多いように感じます。でも、そんな過酷な状況の中、彼らは引退コンサートを成し遂げました。最初から諦めていたら素晴らしき今日のこの日はありませんでした。やってみないとわかりません。彼らがやってみよう！と思えたのは、最高の仲間に出会えたからだと思います。

しかし、このような最高の仲間をこれからの進学先や就職先などで見つけることは、とても難しいかもしれません。（そのくらい彼らが奇跡的な集団だからです。）きっとこれから何かしらの壁にぶち当たることと思います。でも、ぶち当たったときに励ましあえるような最高の仲間がや居場所がここにあります。69期生が築き上げた場所がここにあります。試練にぶち当たっても帰ってくる場所をちゃんと作って、いつだって彼らをサポートできるように待っていますので、是非色んなことに挑戦させてあげてください。色んな試練を経験させてあげてください。彼らは乗り越える力と仲間を持っています。

そしてなにより、2年半の沢山の試練を乗り越えることができた力の源は、間違いなくお家の方の応援や励ましです。演奏会のたびに足を運んでくださったり、彼らの悩みを一番親身になって聞いてくださるからこそ、彼らはここまで踏ん張ることができました。本当にありがとうございました。

新チームでの戦いが始まっています！



主な試合・コンクール等の予定、結果

- ＜野球部＞ 中河内大会（新人戦） 9/3 久宝寺中と対戦
＜バレー部 男子＞ 東大阪大会（新人戦）
8/23 近大附中に勝利 ベスト4入り
8/27 石切中に惜敗 3位
＜バレー部 女子＞ 東大阪大会（新人戦）
8/23 石切中、花園中に勝利 ベスト8入り
8/27 盾津中に勝利 ベスト4入り
8/28 朝鮮中級に惜敗
8/27 3位 杉島・河崎ペア
＜男子テニス部＞ 東大阪総体（個人）
＜女子テニス部＞ 東大阪総体（個人） 8/27 中谷・松田ペア（ベスト16）と
小林・辻ペア（ベスト32）は中河内大会出場
＜女子バスケット部＞ 東大阪大会（新人戦） 8/27. 28 新喜多中、縄手中に惜敗
＜男子バスケット部＞ 東大阪大会（新人戦） 8/27. 28 朝鮮中級に勝利
盾津東中、石切中に惜敗